

川越道の宿場町として栄え、鎮守や道中安寧を  
目的とした「社」が数多く残るエリア  
**常盤台散策コース**

(中板橋駅↔上板橋駅) 6.0km

**茂呂遺跡**

昭和26年3月「オセド山」と呼ばれる独立丘陵(小山)を通る切り通し道路の断面で、石器などが発見されました。その後、同年7月に発掘調査が実施されました。旧石器時代の調査としては群馬県岩宿遺跡に次ぐ全国2例目の調査となり、縄文時代より古い旧石器時代の文化が、日本に普遍的に広がっていることが分かりました。また、この調査で出土したナイフ形石器は、非常に特徴的な形態をしていることから「茂呂型ナイフ形石器」と名づけられました。遺跡は昭和44年に、遺物は平成11年に東京都の文化財に指定されています。現在は東京都の公園用地となっていますが、樹林保護のため立ち入ることはできません。  
所在地 小茂根5-17



「いたばしのむかしばなし」より～**下頭橋の六蔵さん**

川越街道が石神井川をこえるところに架かる橋を「下頭橋」といいます。むかしこの橋は、木で造られていて、大水が出るたびに流され、人々は不便な思いをしました。この橋のもとには、ひとりの年老いた乞食が住んでいました。乞食は橋を通る人たちにふかぶかと頭を下げ、お金を恵んでもらっていました。乞食は人々から「六蔵」と呼ばれていました。六蔵さんは子どもたちからかわれても決して怒ったりすることがありませんでした。ある冬の朝、六蔵さんは冷たく死んでいました。遺体を葬るために村人たちが六蔵さんの体を持ち上げると、その下からたくさんのお金が出てきました。なんと、六蔵さんは今まで恵んでもらったお金を貯めこんでいたのです。村人たちがこのお金の始末に困っていると、旅のお坊さんが通りかかりました。話を聞いたお坊さんは「六蔵さんは世の役に立ちたいと願っていたかもしれない。このお金で立派な橋を架けて霊を弔ってはいかがかな。」と話され、村人たちはみんなこれに賛同しました。六蔵さんの遺体はお坊さんの読経のもと、村人たちに手厚く葬られました。その翌日から工事が始まり、お坊さんの指揮のもと村人たちが力を合わせて働き、やがて立派な石の橋が完成しました。人々はこの橋を「下頭橋」と名づけたということです。



「いたばしの歴史に残る50人」より

ねづかいちろう  
**根津嘉一郎(初代)**



写真提供:東武鉄道(株)

万延元年(1860)～昭和15年(1940)。甲斐国に生まれた実業家です。大正3年、東武東上線の前身である東武鉄道の社長として池袋・田面沢間を開業し、同9年に東武鉄道と合併しました。同13年に成増に娯楽施設の兎月園を開き、昭和10年に常盤台住宅の開発にかかわるなど、区域の発展に足跡を残しました。

**START!**

東武東上線  
中板橋駅



東武東上線  
上板橋駅

**GOAL!**

6分

①**専称院** [仲町44-1]

3分

②**響神社**  
[仲町46-3]

江戸時代には響権現と呼ばれていました。名前の由来については、徳川家康が領国をめぐった際にこの地で馬の疲れを休め、後に残された「くつわ」を祀ったからとも、馬蹄を祀ったからとも言われています。子どもの守り神で、特に百日咳などに霊験のある神として信仰を集めています。



6分

③**大山福地蔵**  
[大山54]

約200年前の文化・文政の頃、川越街道(日大病院入口交差点付近)にお福という行者が来て、街道筋の人々の難病苦業を癒し、大山周辺の人々に慕われていました。大山に住み余生を衆生に尽くしたため、地元大山の人にお福地蔵として祀られています。



9分

④**豊敬稻荷神社** [弥生町12]

6分

⑤**下頭橋と六蔵祠**  
[弥生町52-1・南常盤台1]

下頭橋は、寛政10年(1798)に石橋に架け替えられました。名の由来については、諸説があります。一つ目は、旅僧が地に突き刺した櫂の杖が、やがて大木に成長した「逆さの櫂」がこの地にあったから。二つ目は、川越城主が江戸に出入りする際、江戸屋敷の家臣がここまで来て頭を下げて見送り出迎えたから。三つ目は、橋のため旅人から喜捨を受けていた六蔵の金をもとに石橋が架け替えられたからというものです。また、六蔵祠はこの六蔵の遺徳を讃えて建てられました。



6分

⑥**長命寺** [東山町48-5]

9分

⑦**南常盤台天祖神社**  
[南常盤台2-4-3]

御祭神は天照大神で、創建年代は不詳です。江戸時代には神明社と称し、旧上板橋村の鎮守となりました。明治6年に天祖神社と改称し、今日に至ります。境内の弘化3年の狛犬の台座にある円形の傷は、昭和20年6月10日の空襲による爆弾の破片による被弾の跡です。



3分

⑩**子育て地蔵** [上板橋2-2]

3分

⑪**五本けやき**  
[上板橋1-19]

昭和初期の川越街道の拡幅工事の際、旧上板橋村長であった飯島弥十郎が屋敷林の一部のけやきを残すことを条件に土地を提供しました。こうして残された屋敷林が5本残り、「五本けやき」とよばれるようになりました。その後、枯死した2本を植え替え、今では、川越街道上板橋付近のランドマークとなっています。



3分

⑫**桜川緑道** [桜川1・3丁目境]

3分

⑬**御嶽神社** [桜川1-4-6 城北中央公園内]

6分

⑭**茂呂遺跡** [小茂根5-17]

12分

⑮**安養院**  
[東新町2-30-23]

真言宗豊山派の寺院で、北条時頼が創建したという寺伝が残っています。境内の鐘楼に掛かる銅鐘は、昭和18年に旧文部省より重要美術品の認定を受けたため、戦時中の供出を免れました。庫裡は、旧前橋藩松平家の本邸を昭和4年に移築したものです。なお、ここには板橋七福神の弁財天が祀られています。また、豊島八十八ヶ所霊場の一番札所ともなっています。



すぐ

⑯**旧上板橋村役場跡地** [東新町2-36]

3分

⑰**氷川神社**  
[東新町2-16-1]

旧上板橋村の鎮守である神社です。創建年代は不詳ですが、現在の本殿は嘉永5年(1852)に改築されました。また、江戸時代の石灯笼や奉納額があります。境内の郷土資料館には、旧上板橋村の農機具や生活用品、生産用具など1000点余を所蔵し、板橋区の文化財に指定されています。



9分

⑱**平安地蔵** [南常盤台2-11]

川越道の宿場町として栄え、鎮守や道中安寧を目的とした「社」が数多く残るエリア

**いたばし  
まちあるき  
マップ**

常盤台エリア

★は板橋十景です

▲神社・仏閣の見学・拝観にあたっては、マナーを守りましょう。

# 常盤台エリア

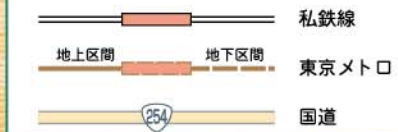
## 凡例

### 散策コース

(コースポイント間を歩く、目安の時間です)  
 コースタイム コースポイント

●	見どころ	☐	図書館
⊗	学校	♨	銭湯・温泉
⊗	警察署・交番	☎	信号機
⊗	消防署・出張所	♿	トイレ
〒	郵便局	♻	スーパーマーケット
⌛	寺	Ⓢ	コンビニエンスストア
⌛	神社	🌸	桜の見どころ
✚	教会	👤	いっぴん
🏠	主な宿泊施設	🏢	見学可能企業
🚌	バス停	🕒	朝市
🏥	主な病院		

※散策ルートを中心に掲載しています。



### 区立教育科学館

身近な日常生活の中の科学をテーマに、エネルギー・交通・通信・災害からの5分野の体験型常設展示があり、誰でも気軽に楽しく利用できます。手前の円柱状の建物はプラネタリウムになっています。

所在地 常盤台4-14-1  
 電話 03-3559-6561  
 開館時間 9時～16時30分(夏休み期間は9時～17時)  
 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)  
 年末年始(12月29日～1月3日)※その他、臨時休館日有り

### 日本書道美術館

古筆、近代書道の名家、現代書道家の作品など約5000点を収蔵しています。書道作品のみでなく、人形、漆芸、陶芸、絵画とともに、日本の伝統芸術として紹介する展覧会を開催するなど、独自の企画を展開しています。展示期間につきましては、お問い合わせください。

所在地 常盤台1-3-1  
 電話 03-3965-2611  
 開館時間 10時30分～16時30分 ※入館16時迄  
 休館日 月・火曜日、展示替え期間、夏期、年末年始

### 見学可能企業

※工業集積地として名高い板橋のものづくり企業を見学する事ができます。

番号	企業名	主要製品	住所	電話番号	休み 申込受付時間	最大受入人数	備考
1	手製本工房まるみず組	特注革装アルバム、特装本等	南常盤台1-4-9 サンライズマンションF	5995-0052	火水 11時～20時	1人～10人	※1

#### 見学の際の注意点

- 必ず事前連絡をし、日程調整をしてください。
- 日程によっては、ご希望に沿えない場合もありますので、ご了承ください。
- 同業者の方の見学はお断りする場合があります。
- 施設内は原則撮影禁止です。撮影にあたっては、企業担当者の許可を受けてください。
- 見学にあたっては、氏名、住所、勤務先を記載した名簿を提出してください。その際、身分証明書等の提示をいただく場合があります。
- その他、企業担当者の指示に従ってください。

※なお、見学可能企業については、区公式ホームページで更新・詳細のご案内をしておりますのでご覧ください。  
[http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c\\_kurashi/019/019562.html](http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_kurashi/019/019562.html)



<板橋区ホームページ>

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28情使、第972号)」  
 地図調製 (株)中央ジオマックス



いたばし観光キャラクター  
 りりんちゃん

### 朝市

番号	名称	実施商店街	開催日時
1	下頭橋通り朝市	下頭橋通り共栄会 奇数月:町会会館前(弥生町27-6) 偶数月:防災広場(弥生町11-6)	毎月第3土曜日 9時～(10月～3月) 8時～(4月～9月)

### 区民が選んだ板橋のいっぴん

番号	店名	商品名	電話番号
1	甘集堂 (板橋和趣会)	かぼちゃ饅頭 板橋お伝え最中	3956-3785
2	双月庵 (板橋和趣会)	エリート凱旋門 板橋お伝え最中	3955-2764
3	マルホベーカリー	あんぱん	3956-1293
4	(有)榮太楼(板橋和趣会)	板橋お伝え最中	3956-3057
5	手づくり屋	クッキー	3530-3139
6	おかずや	さばの味噌煮	5921-2971
7	(株)ひと本石田屋	栗饅頭	3933-3305
8	八百園本店	けやき	3960-6391
9	(有)御菓子司 泉屋 (板橋和趣会)	みとうさん 板橋お伝え最中	3960-3677
10	和菓子商 三木家	たれ団子	3960-1649

区立文化会館・金松湯



### 石神井川の桜並木

花見の頃になると川の上流から下流まで1,000本を超えるサクラが咲き誇る区を代表する桜の名所になっています。桜のまどろこ地点は、向屋敷橋から中根橋付近です。暖かい春の日ざしの下、桜を眺めながらの散歩に、ぜひお出かけください。  
 (東武東上線「中板橋」下車徒歩4分)

### 板橋区くらしと観光課

〒173-0004 東京都板橋区板橋二丁目65番6号(板橋区情報処理センター6階)  
 TEL 03-3579-2251 E-mail: kb-kankou@city.itabashi.tokyo.jp  
 いたばし観光センター  
 (ボランティアガイドの利用案内) TEL 03-3963-5078

※この地図の地番はあくまでも目安としてご覧ください。 令和3年3月発行